

令和7年度 第6回教育委員会会議録

日 時 令和7年9月12日（金） 13時00分～13時43分

場 所 教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

- （1）学校行事等について
- （2）子育てHAPPYDAY
「HAPPYランドinにゃんにゃん王国」について
- （3）一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進について

審議事項

- （1）尾鷲市指定文化財の解除について

出 席 者

教育長	田中 利保
委員（職務代理者）	内山 善嗣
委員	北裏 佳代
委員	米倉 すが
委員	榎本 加奈子

出席事務局職員

教育総務課長	柳田 幸嗣
教育総務課調整監	渡邊 史次
生涯学習課長	世古 基次
教育総務課主幹兼総務係長	柳瀬 誠

13時00分 開会

教育長：みなさんこんにちは。傍聴希望の方がみえていますので、入室を許可してよろしいでしょうか。只今から、令和7年度第6回教育委員会の会議に入りたいと思います。前回会議録署名委員はA委員とB委員でした。今回会議録署名委員はB委員とC委員ということで、よろしくお願いします。9月1日から学校が始まりました。夏休み中は大きな事故もなく、無事に終えることができたことをご報告いたします。水泳に関しても、前回お話ししましたが、大事な取組として続けていきたいと考えています。やはりこの夏も各地で水難事故があり、この近辺でも子どもが亡くなるという悲惨な事故が起きました。改めて水泳指導は大事だなと思いました。それから、校長会で話が出たのですが、今年は日焼けしている児童が少なかったとのこと。熱中症対策で家にいることが多かったのかもしれないという話も出ていました。これから運動会シーズンが始まるので、急な運動による体調の変化が少し心配です。9日（火）ですが、賀田地区で恒例のとちの実拾いに行ってきました。去年は熊の出没事案があったため、子どもが取りに行くのは中止し、区の人が実を持ってきてくれましたが、今回は校長もぜひ実施したいということで、春に花を見て、秋に実を取るということで、区の方にもお願いして一緒に行ってもらい、無事に実施することができました。作業前に熊よけのために花火を数発鳴らして人がいることを知らせ、それから、各校に配布している熊よけスプレーを集めて万全の態勢で臨み、無事に取ることができました。一晩実を漬けておいて、次の日に天気が良かったので、割って刻んで干す作業をしました。まだまだ1週間は干さないと芯から水が抜けないので、今日のように雨が降ると濡れてしまわないか心配ですが、12月の餅つきが無事にできたらなと思います。それでは、事項書4の教育長報告に入ります。

【主な教育長報告】

- 8月21日（木）校長ヒアリング
- 8月21日（木）尾鷲市要保護児童対策地域協議会
- 8月23日（土）中学校体育連盟大会
- 8月25日（月）東紀州教育長会議
- 8月26日（火）第1回四者協議会
- 8月28日（木）支援事務所来庁
- 8月28日（木）人事監来庁

9月 2日（火）全員協議会
9月 3日（水）定例記者会見
9月 4日（木）校長会
9月 4日（木）就学支援委員会
9月 9日（火）第3回定例会開会

9月11日（木）婦人の会講演会（東日本大震災福島語り部）

教育長報告について何かございますか。なければ、事項書5の報告事項に入ります。まず、学校行事についてお願いします。

事務局：資料1をご覧ください。事項書（1）運動会・体育祭の日程についてです。尾鷲中学校の10月4日（土）を皮切りに、矢浜小学校の11月8日（土）が最後になります。いずれも土曜日を予定しており、雨天の場合は順延となります。賀田地区の賀田小学校と輪内中学校については、5月中に既に実施済みです。次に、中学校の文化祭についてです。下段に記載の通り、輪内中学校が11月15日、尾鷲中学校が11月16日を予定しております。裏面をご覧ください。修学旅行の日程です。ほとんどの学校が既に終了しており、最後に賀田小学校が11月13日（木）と14日（金）に、奈良・京都・大阪方面へ行く予定となっております。以上です。

教育長：はい、よろしいでしょうか。では、次の報告をお願いします。

事務局：報告事項（2）子育てHAPPYDAY「HAPPYランド in にゃんにゃん王国」についてです。資料2をご覧ください。昨年までは「ホラーナイト」を実施しておりましたが、本年から新しい企画として、遊びをテーマにした「HAPPYランド」を中央公民館で半日開催いたします。主に8つのコーナーを設け、子どもたちに楽しんでいただく企画です。このうち、縁日のコーナーにつきましては、景品等の都合上、先着200名程度とさせていただきますが、その他のコーナーはチェックカードを1周回っていただければ、その後は何度でも楽しんでいただけます。今回、縁日の部分は青少年育成市民会議に共催という形で携わっていただきます。開催日は9月27日（土）です。以上でございます。

教育長：はい、よろしいですか。以前の「ホラーナイト」に代わってということですね。はい、では3つ目の報告は私のほうから、「一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進について」お話しさせていただきます。これは、三重県教育委員会から、令和6年度の全国学力・学習状況調査の分析結果として示されたものです。今年の4月に、県の研修担当の次長が新しく就任したということで挨拶に来てくれました。

その際に、この資料の素案を見せてくれました。ウェルビーイングという言葉が今よく使われていますが、これは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを指し、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など、将来にわたる持続的な幸福を含むものです。国際比較調査では、自尊感情や自己効力感が高いことが人生の幸福に関係しているとされ、特に日本を含むアジア文化圏の子どもや成人のウェルビーイングは低いという報告もあります。そこで、国は「日本社会に根差したウェルビーイング」として、幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性、自己肯定感など11項目を挙げています。そして、これは学力と別個の問題ではなく、密接に関係しているとされています。これを受け、三重県では「第4次三重県教育ビジョン」を昨年度改定し、子どもたちのウェルビーイングの実現を非常に大事にしています。その中で、子どもたちに育みたい力として「豊かな人生を切り拓き、創り手となることを目指す」と謳っており、そのための政策の筆頭に、これまでは「確かな学力の育成」がありましたが、今回は「一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育の推進」が第一番目に来ました。これは意識的に変更したようで、2番目が学力向上となっています。次のページを見てください。ウェルビーイングを構成する要素として、自己肯定感などが挙げられています。県は、ウェルビーイングの構成要素と、全国学力・学習状況調査の約70項目ある質問紙調査の結果とをリンクさせ、数値化しました。例えば、「幸福感」であれば、「学校に行くのは楽しいですか」や「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」といった質問項目を結びつけ、点数化したわけです。自己肯定感であれば、「自分に良いところがあると思いますか」という項目です。その結果が次の表になります。「1 ウェルビーイング」と書かれている表ですが、これは令和6年度の結果です。尾鷲市の小学校では、例えば幸福感は全国平均が7.81のところ8.18、「学校や地域とのつながり」も全国が8.38のところ8.51と、多くの項目で高い数値を示しています。自己肯定感も、全国が7.40のところ、尾鷲市は7.65です。合計点でも、尾鷲市は80.05と、全国の76.79、県の76.38を大きく上回っています。中学校も同様に見ていくと、自己肯定感は、全国平均が7.21のところ8.13、合計点でも79.64と、全国・県平均の73点台より非常に高い結果となりました。4月に県の次長が来た際にこのデータを見て、「尾鷲市はなぜこんなに高いのか」と聞かれ、本市のふるさ

とキャリア教育などの取組について1時間ほどお話ししました。その結果がこのグラフに示されています。水色が小学校、オレンジ色が中学校ですが、全国平均と比較して非常に良い状態にあることがわかります。次に、子どもたちの心情と授業との関係ですが、現在「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が全国的に進められています。ウェルビーイングと学力は対立するものではなく、ウェルビーイングを支える要素として学力や学習環境がある、という視点が重要です。この「主体的・対話的で深い学び」についても、学力調査の質問項目から数値化しています。例えば主体的な学びであれば、「分からないことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」といった項目です。対話的な学びでは、「友達との話し合いの中で、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりできていますか」といった項目です。これらも尾鷲市の小中学校は非常に高い数値を示しています。次のページのグラフを見ていただくと、尾鷲市の位置がよく分かります。自己肯定感と主体的・対話的で深い学びの相関図ですが、尾鷲市は小学校が県内29市町の中で上から2番目、中学校はなんとトップです。いつもは下の方が多いのですが、この点では非常に高い位置にあります。まとめになりますが、今回の結果から考えられる要因として、本市では、子どもたちが学校で友達といろんなことにみんなで取り組み、話し合いを活発に行っていること、また、「ふるさとキャリア教育」などを通じて地域を知り、地域の方々に様々なことを教えてもらったり、褒めてもらったりする機会が増えたことにより、自己肯定感が育まれてきたと考えられます。先生や親ではない、地域の人から褒めてもらう経験が、子どもたちにとって非常に大きいと思います。尾鷲の子どもたちは人懐っこいと言われますが、それは地域の方々が温かく声をかけてくれる風土も影響しているのかもしれませんが。祭りなどの地域の行事への参加を通じて、郷土に対する愛情が育まれていることも要因の一つでしょう。今回、学力だけでなく子どもたちの心情等を分析することにより、ウェルビーイングという視点で分析してくれたことは非常にありがたいことです。先日、校長会でこの結果を見せたところ、「学力だけではなかなか子どもたちを褒められないこともある。こんないいデータがあるならぜひ活用したい」と、校長先生方も、日頃の成果がここに現れていると、非常に喜んでいました。本市においても、自己肯定感の涵養や郷土への愛着に重きを置いて「ふるさとキャリア教育」を推進しているところで

すので、今回の結果も含め、子どもたちの心情に寄り添った教育を進めていきたいと考えています。もちろん、学力の向上も学校の使命ですから、それと子どもたちの心の面の両方を見ていくことが大切です。またこのような分析は続いていくと思いますので、令和7年度の結果を楽しみにしたいと思います。以上です。

C委員：Q－U調査と比較したデータはないんですか。

事務局：それはないですね。

A委員：尾鷲の学校ではのびのびと過ごせている。それが良い方向につながっているのではないのでしょうか。それが一番大事だと思います。

教育長：そうですね。落ち着いて学習できる環境が一番だと思います。尾鷲市は塾に通っている児童生徒は少ないんじゃないのでしょうか。

D委員：塾自体も減っていて、通う人数も減っていますね。

教育長：自己肯定感は本当に大事で、これが学力向上にもつながると思います。今回の結果は一側面ですが、尾鷲の子どもが頑張っていることは認めてあげたいと思います。では、次に事項書6、審議事項に入りますので、傍聴の方はここでご退席をお願いします。

報道退席

【秘密会】

【全件承認】

教育長：はい、ありがとうございます。その他、何かございますか。

事務局：前回の教育委員会でご報告しましたC委員の再任の件ですが、先日、9月議会で人事案件として同意をいただきましたので、ご報告いたします。引き続き、4年間よろしく願いいたします。

教育長：よろしく願いします。では、次回開催日程をお願いします。

【日程調整】

教育長：はい、では次回は10月21日（火）13時からといたします。それでは、これで第6回教育委員会を閉じます。ありがとうございました。

13時43分 閉会